石井造園 株式会社

CSR 報告書

2009.6.20

YOKOHAMA

幸福を共有できる企業を目指して

石井造園株式会社　代表取締役　石井直樹

代表取締役　石井直樹

日頃は、弊社の活動に対しご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

私は4年前、父の起こした石井造園株式会社の社長に就任するにあたり、どの様に経営を継承すべきか深く考えました。まず社員が石井造園株式会社の仕事を通じて、幸福になること、次にお取引先やお客様が仕事を通じてその幸福を共感できる事、そんな会社にしようと思いました。

社員に対しての仕事を通じた幸福とは、個人の成長があり、社会に対しての存在意義を感じ、そしてなにより成果に見合った報酬を渡すことだと思いました。

お取引先やお客様の幸福とは、品質の良い社員が誠意をもって仕事にあたり、明確なる約束を果たすことだと思いました。また良い流のりだとは思いますが、信頼される企業を目指して活動をしております。

企業の社会的責任を石井造園株式会社に投影して、幸福になること、次に仕事を世の中に創り出すことだと思い、誠実に約束を果たすということに行き着くのだと思います。更の高い公共設備を地元横浜市にお返しすることが使命だと考え、横浜市発注の工事21件の内、19件が80点以上の評価点を頂き、優良工事請負業者の表彰を五度頂きました。

工事の高評価だけでは地域の皆様に真の価値を見出して頂くのは難しいと思い、公共工事のみならず、全ての仕事に対し、下記に示すCSR方針を打ち立て、意識をしながら事業を展開していこうと思いました。

CSR責任者を雨宮純平君にお願いをし、横浜型地域貢献企業の認定に挑戦を致しました。取得には横浜市経済観光局経営・創業支援課の皆様や、横浜市大の影山摩子弥先生、NPO法人横浜スタンダード推進協議会のご指導を頂き、誠にありがとうございました。活動の内容は本紙上で紹介させて頂きます。

CSR活動で心がけているのは"ついでに、無理なく、達成感のあること"をしよう！です。"ついでにやる"は本業である造園業を通じた活動をしていくということで、ついでにやれば環境に対する負荷の軽減に繋がります。「無理なくやる」はあまり費用をかけずにやりたいです。無理が無いからこそ活動は継続できるのです。「達成感のある活動」はやっていて気持ちいいですし、気持ちのいい活動は、やがて連動となり、社会における現象に繋がる可能性があると思います。

こうして計画し、実施してきた活動が本日のイベントを含め、20年度は22件行うことが出来ました。2月末にマネジメントレビューを実施し、下記の通り、21年度CSR目標を策定するに至りました。今後も質・量共に充実した活動を展開し、皆様から信頼される、幸福を共有できる企業を目指してまいります。宜しくお願いします。

最後に今年度44期を迎えるにあたり、改めてお支え頂きました業者の皆様、継続して仕事を頂いているお客様、いつも見守って下さる地域の皆様に深く感謝いたします。

石井造園株式会社　経営理念

企業活動を通して、顧客及び社会から信頼される企業をめざす

CSR方針

石井造園株式会社は経営理念にある、顧客及び社会に信頼される企業を目指すため、生業の全てにおいて、地域志向CSR方針を打ち立て事業を展開していきます。

1) 活き活きとした活力ある職場環境を作ります。
2) 仕入れや発注先は地元を優先し、地域経済の発展に寄与いたします。
3) 緑を扱う者として地球環境の改善に貢献します。
4) 法に抵触する事はもとより、事後に発覚し格好の悪い事は、絶対にしません。
5) この活動の有効性を監視し、永続的に改善いたします。

CSR方針に基づき地域社会の一員として、地域に活かされている我々である事を確認し、地域貢献企業として事業を展開していきます。

平成21年度CSR目標

①ISO9001のシステムを活用しP.D.C.A.を円滑にするシステムを作る
②倫理的規範を充実する
③地域作業所の活用を3件以上する
④150万本植樹行動で苗木配布を500本する
⑤CSR報告書の公表

弊社の取り組み

零細企業はついでが大事！無い知恵絞って頓知の利いた小さな活動。零細企業は密度が大事！地域の皆様と深みのある活動をしていきます。

生業として展開する全ての活動において、環境、癒し、潤いを提供し、お客様や会社に関わる全ての人の幸せを実現する為に、横浜型地域貢献企業として、地域の皆様の役に立つ企業を目指します。次世代の環境問題にも企業として責任を果たすべく、まちの美化やCO₂の削減に努めてまいります。お客様から頂戴する「ありがとう」の一言が私たちの何よりの喜びです。

CSR責任者　雨宮純平

全国から800通を超える投票

CSRプラス大賞 地域推薦枠にノミネート

日本財団CANPAN主催の「CSR大賞」に横浜を代表する地域推薦枠でノミネートされました。この賞は、会社の取り組みを「世間よし・売り手よし・買い手よし」の三方よしの視点から、どの程度実行しているかを点数で評価し、一般の方からの投票数で大賞を決めるというものです。

石井造園がノミネートされた「第2回CSRプラス大賞」では株式会社を公開している企業が情報提示枠として10社、またNPOや自治体が推薦する地域推薦枠が10社、石井造園を含め20社がノミネートされ、20社中1社目ながら全国の皆様から800通を超える投票を頂きました。

その中には石井造園を応援するコメントだけでなく、叱咤激励するコメントもあり、また気を引き締めて取り組もういう気持ちになりました。

石井造園に投稿された皆様のコメント

少ない従業員の数でこれだけの取り組みをされている事に驚きました。こういった活動にある程度大きな企業にしかできないんじゃないかと思っていたけど、思いがあれば企業の大きさに関わらずできるものなんですね。これからも活動をがんばってください。
（20代・女性）

色々な制度を作っても実際に使える企業はそれほど多くないと思います。決して大きくない企業でそれらの制度を実際に使えるのはすごいと思います。小さいからこその行き届いた目でこれからも地域に密着した活動を期待しております。（20代・男性）

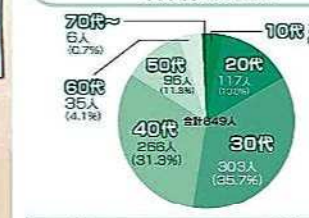
自社の事だけでは無くて、人間や自然など、ありとあらゆる存在に優しい会社だと思うので、とっても共感が持てました。口先だけじゃなくて、しっかり取り組んで、どんどん成長していって欲しいです。
（30代・女性）

とても地元に密着し、地域に貢献している会社だと思いました。人数が少なくても、どの会社よりも中身の濃い活動をされているのではないでしょうか。また、子供たちともふれあい、とても素晴らしいと思います。これからもぜひ活動を続けていってもらいたいと思います。（60代・女性）

貴社の活動内容を拝見し、日本にもまともにCSRを推進実行している企業があるのかと感服しました。CSRどころか企業の誠実さや品格すら問われる日本の現状、内側にも外側にも目を向ける貴社のシステムや地域に「顔」を出す活動、今後も継続して活動を発展させていただきたいと思います。
（40代・男性）

CANPAN CSRプラス　ホームページ https://canpan.info/csr_index_view.do

石井造園に投稿した方の年齢層と男女比



男性 470 (55.4%)　回答数　女性 379 (44.6%)

野の花に魅せられて

取締役会長　石井昭彦

私が山野草盆栽を始めたのは五十数年前のことです。野の花はつい見落としてしまうような存在感の少ない草花です。しかし鉢に取って三年、五年と愛培すれば古木の盆栽にも劣らない風格と宝石のような気品を見せてくれます。そんな野の花たちは、厳しい風雪に耐えてきた力強さを感じさせ、まさに「疾風に勁草を知る」の言葉通りです。

盆栽を飾るとき、季節を表現するために必ず山野草盆栽が添えられます。それは俳句の季語に当たるものです。そして、時には主役の盆栽よりもはるかに見る人の心を打つこともあるのです。

私はこんな野の花を育てながら、子供の頃、野山を駆け巡った昔の原風景を思い出しています。

山ラッキョウ・アワモリショウマ・ホソバナ・ヒメツチミノウシの寄植

そもそも… CSRと横浜型地域貢献企業って?

CSRとは?

企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）は企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆるステイクホルダー（利害関係者・消費者・投資家等・社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をすることをいいます。はっきりと定義することは難しいですが、要するに企業の活動に関して社会等の対象者に説明責任があり、はっきりと説明できないと社会からの信頼を得られなくなり企業自体も続かないということです。

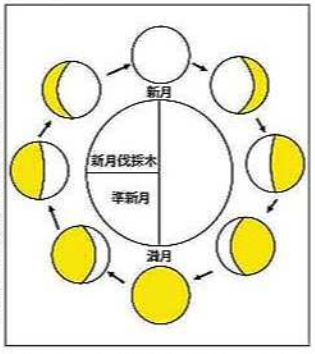
横浜型地域貢献企業とは?

「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本来・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準（地域志向CSRマネジメント・システム規格）のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。（財横浜企業経営支援財団より）

「横浜型地域貢献企業」はコンプライアンス（法令順守）を最重要に挙げていますが、地域貢献にも大きく目を向けています。

弊社は"この地域に活かされている"という想いから地域に対する活動により力を入れております。

腐りにくく、長持ちする木になる!? 新月伐採をご存知ですか?



下弦の月から新月のころに伐採することを「新月伐採」と言います

悟さんは「新月伐採」というのをご存知でしょうか？新月というのは満月の反対の、あの星団に空を動く新月です。実は真冬の新月の時に伐採した木は腐りにくくて丈夫というのです。木造の家に住みたい方は、新月の時に切った木使った家にした方が長く持つのです。これは言い伝えや迷信ではなく、科学的な根拠もあるのだそうです。

寒い時期の、それも新月の日には、木は水分や栄養分を根元から吸い上げません。つまり、木の中には水分やでんぷん質が蓄積になるのです。すると、その状態で切り出した木には、栄養分を求めてやってくるカビや害虫が生でいけなくなります。カビが生えにくく、虫も付きにくい。よって腐りにくく長持ちする木になるのです！

自然の摂理に逆らうことなく仕事をすることが大切だと思いました。